第 33 回日本時間生物学会学術大会

開催趣意書

会期： 2026 年 11 月 14 日（土)、15 日（日）

会場： 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

会長

沼野利佳（豊橋技術科学大学・次世代半導体・センサ科学研究所）

程　肇　（金沢大学・理工研究域）

第 33 回日本時間生物学会学術大会開催にあたって

謹啓

余寒の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り心より御礼申し上げます。

第 33 回日本時間生物学会学術大会を 2026 年 11 月 14 日（土）～11 月 15 日（日）の 2 日間にわたり、愛知県豊橋市穂の国とよはし芸術劇場 PLAT （新幹線豊橋駅より徒歩 2 分） で開催を予定しております。エントロピーの散逸を強いる時間の下、生命が時間を構造化してリズムを生み出す機構とその意義を研究する時間生物学の原点に立ち戻り、第 33 回の学術大会のテーマを、「生命と時間のクロストーク」としました。豊橋は文字通り愛知県を流れる「豊川にかかる橋」に由来し、古からの東海道の宿場町であります。文化や人が往来する東海道にて、さまざまな事象、学説、人が交流する架け橋となる学会を開催します。

日本時間生物学会は、1994 年に体内時計を研究する学会として発足し、生理学、行動学、遺伝学などの実験生物学やモデリングやデータサイエンスを駆使した数理生物学を含む基礎生命科学研究から、リズム異常に基づく睡眠障害や生活習慣病などの臨床研究まで、一同に会する学際的な学会です。2017 年には、ハエの概日リズム発振機構を明らかにした研究がノーベル医学生理学賞に輝き、この分野への社会的な関心が一気に高まりました。本学会は、日本の概日リズム研究の主導的な学会として、国内外より高く評価されております。

電化の光は、ヒトを夜の暗がりから解放しました。近年の航空機や情報化社会の発達は、地球上のあらゆる場所に１日で移動し、各地の情報を瞬時にやり取りすることで、ヒトは距離によるコミュニケーションの障害も克服しました。しかし、同時にそれらは概日時計の大きな乱れを生み、睡眠障害やうつ病、癌、肥満や糖尿病などの生活習慣病の進展を引き起こしました。また、高齢では概日リズムの環境のリズムに同調する能力が衰退するため、意識的に正常なリズムを維持することも必要となります。このように、日本社会ひいては人類全体が抱える諸問題に対し、原因の追究、解決策の提言など、本学会に求められる課題は重要です。

前日の 11 月 13 日（金）には、豊橋技術科学大学と共催で、ダイバーシティ推進の一環として、時間生物学を基盤とするジェンダードイノベーション(性差)研究についての発表を含むサテライトシンポジウムも開催いたします。サテライトシンポジウムは勿論、学生から研究者、臨床の先生、また、企業の方がたなど、様々な人々のクロストークが花開く大会となることを祈願します。

皆様におかれましては、本学術大会の趣旨に、何卒ご賛同いただき、本学術大会の成功のために、格別のご高配を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2026 年 2 月 吉日

第 33 回日本時間生物学会学術大会　会長
沼野利佳（豊橋技術科学大学・次世代半導体・センサ科学研究所）
程　肇　（金沢大学・理工研究域）

開催概要

1.名　　称　　：第 33 回日本時間生物学会学術大会

2.会　　期　　：2026 年 11 月 14 日（土)、15 日（日）

3.会　　場　　：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
〒440-0887　愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

4.会　　長　　：沼野　利佳（豊橋技術科学大学次世代半導体・センサ科学研究所）
程　肇（金沢大学・理工研究域）

5.予定参加人数：約 300 名

6.テ　ー　マ　：生命と時間のクロストーク

7.学 会 概 要　：特別講演、シンポジウム、受賞講演、一般演題（ポスター)、企業展示

8.大 会 事 務 局 ：豊橋技術科学大学次世代半導体・センサ科学研究所
〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ケ丘 1-1
TEL&FAX：0532-44-6909

東京科学大学 生命理工学院
〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1
TEL&FAX：03-5734-3582

9.運 営 事 務 局 ：アップローズ株式会社
〒440-0886　豊橋市東小田原町 48 番地　セントラルレジデンス 201
TEL：0532-21-5731　FAX：0532-52-2883
E-mail：jsc33@uproses.co.jp

10. 協賛金を必要とする理由：

本学会は、約 300 名の参加を予定しています。小規模の学会ではありますが、開催の準備・運営には約 5,060,000 円が必要と概算されます。これらの経費は、本来参加者の参加費等個人で負担する経費で賄うのが建前でありますが、参加者が個人で負担できる額には限度があり、必要経費の相当額をこの研究分野の隆盛に関連される諸団体、諸企業からの浄財のご援助に頼らざるを得ないのが実情であります。諸経費ご多端の折り、誠に恐縮に存じますが、第 33 回日本時間生物学会学術大会が多大な成果をあげる為に是非ご支援くださいますようお願い申し上げます。

11.振　込　先　：三菱 UFJ 銀行　豊橋支店（店番号：461）

預金種別：普通

口座番号：0746226

ﾀﾞｲｻﾝｼﾞｭｳｻﾝｶｲﾆﾎﾝｼﾞｶﾝｾｲﾌﾞﾂｶﾞｯｶｲｶﾞｸｼﾞｭﾂﾀｲｶｲ　ﾀｲｶｲﾁｮｳ　ﾇﾏﾉﾘｶ

口座名称: 第 33 回日本時間生物学会学術大会　大会長　沼野利佳

12. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて：

第 33 回日本時間生物学会学術大会では、日本製薬工業協会、日本ジェネリック製薬協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」および日本医療機器産業連合会の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」の趣旨に賛同し、ガイドラインに基づく情報公開の実施について承諾いたします。

13. 各種お申込の取消しについて：

申込書の提出後は、事務局が不可抗力と認めた場合以外、取消しできません。ただし、天候・災害等にてやむを得ず開催中止となった場合は、各種キャンセル料などの会計処理後の残金を、返金調整させていただく予定です。

14. 問い合わせ先：運営事務局　アップローズ株式会社

〒440-0886　豊橋市東小田原町 48 番地　セントラルレジデンス 201

TEL：0532-21-5731　FAX：0532-52-2883

E-mail：jsc33@uproses.co.jp

収支予算

【収入の部】

項目	単価	数量	合計	備考
Ⅰ.参加費収入			¥2,300,000	
一般・事前／早期	¥8,000	100	¥800,000	
学生・事前／早期	¥5,000	60	¥300,000	
一般・事前／後期・当日	￥10,000	90	¥900,000	
学生・事前／後期・当日	￥6,000	50	¥300,000	
Ⅱ.協賛費用			¥1,660,000	
協賛シンポジウム	¥200,000	2	¥400,000	
企業展示	¥100,000	4	¥400,000	
広告掲載（後付 1P）	¥60,000	5	¥300,000	抄録集（モノクロ 1 頁）
（後付 1/2P）	¥40,000	14	¥560,000	抄録集（モノクロ 1/2 頁）
Ⅲ. 寄付金			¥300,000	
寄付金	¥300,000	1	¥300,000	
Ⅳ. 助成金			¥800,000	
学会本部補助金（学術大会）	¥500,000	1	¥500,000	
豊橋市	¥300,000	1	¥300,000	
収入合計（A）			¥5,060,000	

【支出の部】

項目	単価	数量	合計	備考
Ⅰ.事前準備費			¥2,050,000	
1.事務局業務委託費	¥500,000	1	¥500,000	全体管理、協賛・寄付対応など
2.ホームページ制作、運用	¥350,000	1	¥350,000	
3.抄録作成費	¥900,000	1	¥900,000	大会専用サイト運営費を含む
4.印刷関連費	¥150,000	1	¥150,000	名札、案内用紙、ポスターなど
5.消耗品費	¥100,000	1	¥100,000	名札ケース文具など
6.通信費	¥50,000	1	¥50,000	発送費
Ⅱ.会期運営			¥2,960,000	
1.会場費	¥1,000,000	1	¥1,000,000	
2.ポスター会場設営費	¥625,000	1	¥625,000	パネル設営、撤去、搬入出
3.映像機材費	¥300,000	1	¥300,000	
4.人件費	¥360,000	1	¥360,000	
5.講師謝金	¥150,000	1	¥150,000	5 名×30,000 円
6.講師旅費・交通費	¥300,000	1	¥300,000	5 名×60,000 円
7.講師宿泊費	¥225,000	1	¥225,000	5 名×45,000 円(3 泊)
Ⅲ.事後処理			¥50,000	
1.雑費	¥50,000	1	¥50,000	事務手数料、お礼状送付、振込手数料など
支出合計（B）			¥5,060,000	

寄付募集要項

1. 募 金 の 目 的 : 第 33 回日本時間生物学会学術大会　開催助成

2. 募 金 目 標 額 : 300,000 円

3. 募　集　期　間 : 2026 年 2 月 2 日（月）から 2026 年 11 月 13 日（金）まで

4. 寄付金の使途: 第 33 回日本時間生物学会学術大会の準備及び運営の費用

5. 振 込 先 口 座 : 三菱 UFJ 銀行　豊橋支店（店番号：461）
   預金種別：普通
   口座番号：0746226
   ﾀﾞｲｻﾝｼﾞｭｳｻﾝｶｲﾆﾎﾝｼﾞｶﾝｾｲﾌﾞﾂｶﾞｯｶｲｶﾞｸｼﾞｭﾂﾀｲｶｲ　ﾀｲｶｲﾁｮｳ　ﾇﾏﾉﾘｶ
   口座名称: 第 33 回日本時間生物学会学術大会　大会長　沼野利佳

6. 申し込み方法: 別紙、寄付申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局宛にメールまたは
   ファックスにてご提出をお願いいたします。

7. 税法上の扱い: 税法上の優遇措置はございません。

協賛シンポジウム募集要項

1. 開催日程：2026 年 11 月 14 日（土）、15 日（日）

2. 開催形態：講演会場にて、シンポジウムの前後いずれかに 3 分間のプレゼンテーションを実施いただけます。

3. 協賛費用：200,000 円(税込)

4. 協賛費用に含まれるもの：
   - 講演会会場費
   - 映像機材費（本学会で使用する設置済みのプロジェクター・スクリーン・PC など）
   - 音響機材費（司会用・演者用・質疑用マイクなど）

5. 協賛費用に含まれないもの：
   - 座長・演者用名前垂れ作成費
   - 運営費用（アルバイトスタッフ等の人件費、協賛シンポジウム用案内看板　他）
     ＊上記につきましては、後日別途オプション申込のご案内をいたします。
   - 座長・演者への謝金・交通費・宿泊費など

6. 申込期限：2026 年 8 月 31 日（月）

7. 申込方法：別紙、協賛申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局宛にメールまたはファックスにてご提出をお願いいたします。

8. 備　　考：
   プレゼンテーションの開催日時は、主催者にご一任ください。
   発表者のネームカードは、受付にてお受け取り下さい。ご発表終了後、ご返却をお願いします。学会にご参加の場合は、別途参加登録をお願いいたします。

企業展示募集要項

1. 募集小間数：4 小間（予定）

2. 展 示 期 間：2026 年 11 月 14 日（土）、15 日（日）

3. 会　　場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
4. 出 展 料 金：100,000 円（税込）

5. 基 礎 小 間：展示机：W1,800×D450　(2 本)

6. 小　間　割：小間数、出展内容などを考慮の上、決定させていただきますので、
会長にご一任願います。

7. 申 込 方 法：別紙、展示申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局宛にメールまたは
ファックスにてご提出をお願いいたします。

8. 申 込 期 限：2026 年 8 月 31 日（月）
但し、予定小間数になり次第、締め切りとさせていただきます。
9. 備考：
・小間割および出展要項は 9 月頃発行予定でございます。
・出展物は事務局の認めたものといたします。
・ブース内に持ち込まれる展示機器等貴重品の管理は各社様にてお願いいたします。
・会場及び出展物の保全については最善の保護と管理にあたりますが、天災その他の不可抗力による事故、盗難、紛失及び小間内における人的災害の発生については責任を負いかねます。
・やむを得ない事情により、会場・会期及び開場時間を変更する場合がございます。この変更を理由として出展申込みを取り消すことは出来ません。また、これによって生じた損害は補償いたしません。
・出展企業様による物品販売については、事前申請が必要です。運営事務局まで予めご連絡いただけますようお願いいたします。

抄録集広告募集要項

1. 掲 載 媒 体： 第 33 回日本時間生物学会学術大会　抄録集
仕上がりサイズ：A4 判縦（白黒）
発行部数：600 部（予定）
配布対象：第 33 回日本時間生物学会学術大会　参加者および関係者

2. 広 告 料 金：後付 1 頁　　60,000 円（5 社）
後付 1/2 頁　　40,000 円（14 社）　　※価格は税込

3. 作成諸費用：編集･制作費は 900,000 円予定

4. 発行予定日：2026 年 10 月下旬

5. 申 込 方 法：別紙、広告申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局宛にメールまたはファックスにてご提出をお願いいたします。

6. 申 込 期 限：2026 年 8 月 31 日（月）

7. 原 稿 締 切：2026 年 8 月 31 日（月）

8. 広 告 原 稿：後付 1 頁・・・　A4 縦（白黒）
後付 1/2 頁・・　A5 横（白黒）

掲載媒体のサイズに合わせて、データ（完全版下）でご用意ください。Illustrator データ(Ver. 8.0 以上アウトライン化済)もしくは PDF データを出力原稿と共にメール､オンラインストレージ等でご提出頂くか､CD-R 等に保存のうえ、郵送にてお送りください。